

手術前に禁煙をして下さい

タバコが健康に悪影響を及ぼすことはよく知られています。さらにタバコと術後合併症の発生は密接に関わっており、心血管系、呼吸器系、創傷治癒に悪影響を及ぼします。つまり、タバコを吸うことにより術後の回復が悪くなりやすいということです。手術をより安全に受けるために、手術が決まり次第、禁煙をして下さい。

心血管系への影響 ・ ・ 狭心症や血栓症が起こりやすくなります ・ ・

タバコに含まれるニコチンは交感神経を緊張させるため、血管が収縮します。さらに一酸化炭素は細胞の酸素不足を引き起こします。心臓の酸素不足で狭心症の発作や不整脈がおきやすくなります。また、ニコチンや一酸化炭素によって血管内皮細胞がダメージを受け、血栓（血のかたまり）ができやすくなり、脳梗塞、心筋梗塞、肺梗塞などの危険が増加します。



ND

呼吸器合併症 ・ ・ 術後肺炎が起こりやすくなります ・ ・

術後の最も多い死因は呼吸器合併症です。喫煙者の開腹手術において、術後に呼吸器合併症を起こす確率は、非喫煙者の約3倍です。タバコにより気管の繊毛運動が弱くなり、痰が出にくくなるためです。また、喫煙者は咳が出やすく、咳をすると傷に響いて、とても痛い思いをします。じっとしている時の痛みは痛み止めで抑えられますが、咳をしたときの痛みはどんな薬も効きません。手術後に痛い思いをしたいですか？

創傷治癒への影響 ・ ・ 手術の傷が治りにくくなります ・ ・



ND

ニコチンや一酸化炭素により細胞が酸素不足になります。また創傷治癒に重要なコラーゲンの産生量が低下します。つまり手術の傷が治りにくくなったり、化膿しやすくなったりします。腸管の吻合部がうまくくっつかなければ（縫合不全）、腹膜炎を起こし、命に関わることもあります。

禁煙できない場合、手術を行わないと決めている病院もあります。

禁煙は約1ヶ月間必要です。今すぐ実践し、手術に臨んで下さい！

石川県立中央病院 消化器外科・乳腺内分泌外科

イラスト：いい禁煙 (<http://www.e-kinen.jp/>)